

第7号

2018年7月12日 発行
(平成30年)

せしゅうのかい おおぞら かいほう
青松の会 おおぞら 会報



おおぞら



青松の会「おおぞら」の益々のご発展を
目黒区健康福祉部障害福祉課長 保坂春樹

新施設「おおぞら」が昨年6月1日に開所し、一周年を迎えましたことに心よりお慶び申し上げます。

本施設は、昭和45年4月に中央区でミチル会作業所として始まり、昭和54年4月に中目黒に移転、さらに平成15年11月から平成29年5月まで中町で活動してまいりました。

このように、半世紀以上にわたり活動が発展してきたのも、現理事長をはじめ法人職員や歴代関係者のご尽力、利用者やご家族、地域の皆様の多大なるご理解ご協力の賜物であり、敬意を表すところです。

施設名も、ミチル会作業所から、平成22年1月に東京都から特定非営利活動法人の認可を受け、NPO法人青松の会を設立して中町作業所に改め、新施設の移転を機に定員を20名から30名と増員し、現在の「おおぞら」に名称を変えました。

活動内容は、これまでも自主製品の販売や企業からの受注作業等を行ってまいりましたが、移転を機に、新たにジャムづくり等の食品加工や、建物内に店舗も併設する等、一層充実した環境で活動していると伺っております。

就労継続支援B型事業所として、仕事のやりがい、感謝される喜び等、その経験や様々な人との関わりを通じて、利用者一人ひとりの可能性を広げ、豊かな人生につながるよう願っております。

区においても、本年3月に目黒区障害者計画を改定し、障害の有無にかかわらず、誰もが分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共に生きる社会の実現に一層努めてまいりますので、これからも皆様のご協力をお願い申し上げます。

結びになりますが、青松の会「おおぞら」の益々のご発展と関係者の皆様の一層のご活躍をお祈り申し上げます。

房総半島一泊2日の旅 2017. 10. 12(木) ~ 13(金)

新施設移転後、初めてのバスハイク。大型バスでアクアラインを経由して袖ヶ浦にある東京ドイツ村へ。広大な園内をバスで一周した後、マメ自動車やキッズコースター等で各自楽しみました。



昼食は金谷で海鮮料理。昼食後、アロハガーデンたてやまで「植物園」と小さな「動物園」を見学。見学後早めに白浜のホテルへ。夕食までの自由時間は、各自ショッピングや入浴で過ごす。豪華な夕食の後、ビンゴゲームで大いに楽しむ。翌日、バイキングの朝食後、鴨川シーワールド見学に向う。「シャチ」や「アシカ」のショー、水族館見学等で充分満足しました。



昼食は、館山の漁師料理。さざえやはまぐり、ほたてを焼いたり、刺身やてんぷら等をおいしくいただきました。

最後に「お百姓市場」に寄り、落花生の詰め放題を楽しみ、帰途につきました。

都内見学と屋形船 2018. 3. 16(金)

あいにくの雨模様でしたが、大型バスの車中から都内見学をしました。途中、休憩した皇居前では外人観光客の多さにびっくり。

昼食は品川発の屋形船の中で。レインボーブリッジや豊洲市場、晴海旅客ターミナル、海王丸等々を眺望しながらの楽しい昼食でした。下船後は東京タワーに向いました。天気があまり良くなかったので遠くまで見る事ができませんでしたが、スカイウオークウィンドウを体験したり、お土産を買ったりして、まずは楽しい雨のバスハイクでした。



富士サファリパーク 2018. 6. 15(金)

サファリーパーク系の見学は初めてです。東名高速を利用して富士サファリパークに到着。パーク内のレストランで昼食。昼食後、乗ってきた大型バスに乗車、クマゾーン・ライオンゾーン・トラゾーン・ゾウゾーン・一般草食ゾーン・山岳草食ゾーン等のサファリゾーンを一時間かけて車窓より見学。迫力満点でした。見学後バスを降り、ふれあい牧場やどうぶつ村でカンガルー・レッサーパンダ・カピバラ・アルパカ・かば等と対面見学をし、買物をすませてから帰途につきました。



富士サファリパーク見学に行きましたが、その時の一番の印象を描いてもらいました。



【高橋昌也さん】

めったに行かない場所だった。
写真をいくつかとって家族に見せた。
楽しかった。



【横山政夫さん】



【松崎裕史さん】



【佃康代さん】



【丸山颯斗さん】

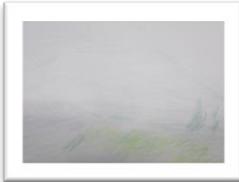
【瀧宮桃代さん】

たのしかったことはおみやげをかったこと。
バスで動物のいるところを回ってたのしかった。
動物がかわいいと思った。



【薄井道広さん】

らいおん、トラ、ひょう、
チーター大きくてびっくり
した。たのしかった。



【福田修己さん】



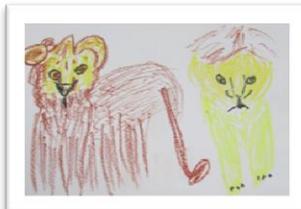
【山田頼利さん】



【川田龍之介さん】



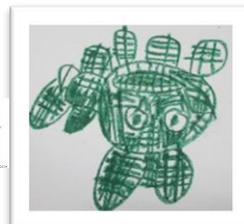
【森本広美さん】



【小澤清美さん】



【平野熙朗さん】



【田中大輔さん】



【山中千春さん】



【大野奨さん】



【石野田有夏さん】



【前田耕三さん】



【佐藤弘子さん】



【鎮目真由美さん】

一番印象にのこったのは、ラクダが水をのんで
いたのを見たことです。ゾウのみがおおきか
った。ごはんをみんなで食べられたのがよか
ったです。またいきたいとおもいます。



【明石千代さん】

みんなと初めて外出しました。いろんな動物にあえてよかった。
食事もととてもよかったです。本当はポニーちゃんも見たかったです。

【おおぞら活動紹介】

自主製品

≪ ステンシルによる布巾、ハンカチの製作 ≫ ≪ エコバッグ（ろうけつ染め・しぼり染め） ≫
 ≪ ビーズワーク（ストラップ・ネックレス・ブレスレット等） ≫ ≪ 季節の置物作り（干支飾り等） ≫
 ≪ 木工加工（キーホルダー・クリスマスツリー等） ≫ ≪ 布製品（ブックカバー等） ≫
 ≪ 紙製品（カード入れ等） ≫ ≪ 食品加工（各種ジャム等・ケーキ類等） ≫



外注作業内容



官公需
企業受注

- 区立公園清掃2ヶ所・四十雀巣箱作り
- 鑑賞魚用エアポンプの部品組立・箱組み立て
菓子袋折りと紐通し・飴の各種梱包作業
毛糸のサンプルセット作成

..... 企業受注承ります。お問い合わせ下さい

ホームページ

<http://www.seishonokai.or.jp/>
 又は、「おおぞら」で「検索」してご覧下さい。

≪ 青松の会おおぞら職員 ≫

〈所長〉熊谷重信 〈主任〉前田友江
 〈支援担当〉土井清志・伊能芳隆 〈事務担当〉梅川百合子・田村美矢子
 〈支援員〉石原道・川名立子・加藤由香里・青木紀子

特定非営利活動法人 青松の会おおぞら

〒152-0001 東京都目黒区中央町2-32-13

TEL：03-3710-2531

FAX：03-3710-2540

E-mail：oozora@seishonokai.or.jp

発行人 熊谷重信

編集後記：1年ぶりの発行となってしまいました。当初、年2回発行を予定してましたので、今後は予定通りにするよう努めたいと思っています。寄稿ご希望の方、遠慮なくお申し出下さいませよう。（B）